町民ディスクドッヂ大会ルール

部　　門　［一般の部］中学生以上
※一般女子・シニアも出場可能。但し部門の重複は認めない
［一般女子・シニアの部］中学生以上の女子、シニア（６０歳以上）
※この部門の対象者が［一般の部］に出場することは可能だが、重複することはできない
［ジュニアの部］小学１年生～６年生まで

競技人数　６名＋補欠＝最低６名での申込とする。

用　　具　主催者側で準備したドッヂビー（ディスク）・ビブス等を使用する。

コ ー ト　バドミントンコートを使用する。
※ジュニアの部についてはミニバレーコートを使用する。

服　　装　靴は室内用のものを使用し、その他は特に規定しない。

競技方法　①先攻後攻をじゃんけんで決める。
②内野外野を配置する。（内野４名・外野２名）
※外野は２名以上を維持しなければならない。
③審判の合図で競技を開始する。（競技時間は５分間）
④５分経過時点で勝敗が決しない場合、Ｖヒット方式で決着する。
※Ｖヒット方式・・・試合開始時と同じ人数で再スタートするが、
１人でもヒットした場合、即試合終了となる。

勝　　敗　次の２つの方法で競技に勝利となる。
①競技時間内に相手チームの選手全員をヒットすると勝利。
②競技時間終了時に内野の人数が多い方が勝利。

ヒットとは　・手から離れたディスクがノーバウンドで相手チームの内野選手に触れ、そのディスクが地面に落ちた時。（複数名の場合も同様）
・外野選手がヒットした場合は、内野選手に復活することができる。ただしこの場合は、ヒットした選手本人でなければならない。
※キャッチした場合はセーフとなる。
※ヒットになった際は、ゲームを一旦止め、内野外野の位置を確認後、ヒットされたチームの内野にディスクを渡し、主審の合図で試合再開する。

注　　意　ラインは踏んでも良いが、踏み越してのスローは無効とし、相手チームのディスクとします。（ラインに足がかかっている場合はＯＫ）

選手交代　事故等の場合を除き、基本的に試合中に交代することはできない。
※試合中にケガ人がでた場合、その後の試合続行方法（補欠との入れ替え及び試合時間の延長 等）については主審の判断とする。

審　　判　主審（２名）は主催者側で行う。